

# 第18回 ちゅうでん教育振興助成（平成30年度）

## 報告書資料 復興支援 — 20

学校名・団体名	熊本市立託麻北小学校
コース	学校支援
活動・研究のテーマ	地域の宝・自慢を受け継いでいこう

### 1. 実施計画に至るまでの経緯

本校は、これまで地域の方々や農業団体等の協力を得ながら、1年生から6年生までの全ての児童が、農産物の生産と加工について、実体験を通して学ぶ機会を与えていただけてきた。本市教育委員会からの助成金もあり、熊本地震の後もなんとか事業を継続していただけてきた。

しかし、本年度より委員会からの助成が大きく減額され、農地の借用をはじめ今後の事業継続ができなくなるかもしれない状況になった。

そこで、これまでの事業を本年度も継続させると同時に、子どもたちがこれまでの足跡をしっかりと記録したりまとめたりして地域や関係団体の方に「地域の宝・自慢」として発信していくことで、地域とともにある教育の推進を目指したい。

### 2. 活動の実際

#### 【活動1】「さつまいもを育てよう」

- (1) 対象者 1年生（77人）、2年生（92人）、かがやき（特別支援）学級（12人）
- (2) 教科 生活科、生活単元学習
- (3) ねらい さつまいもを育てておいしく食べよう
- (4) 活動の特色

校外の畑でさつまいもの植付けから収穫までを体験し、その様子と学習の成果をまとめて発信する。

- (5) 活動時期および内容

6月～11月：栽培～収穫、12月：お世話になった方へのお礼とまとめ、2月：発信



いもほり

#### 【活動2】「大豆を育てよう」

- (1) 対象者 3年生（89人）、4年生（84人）、かがやき（特別支援）学級（5人）
- (2) 教科 社会科、総合的な学習の時間
- (3) ねらい 特産の大豆を育てて枝豆として収穫し、さらに加工品である豆腐や味噌作りを体験する。



枝豆の収穫

#### (4) 活動の特色

校外の畑で大豆の植付けから収穫、加工までを体験し、その様子と学習の成果をまとめて発信する。

#### (5) 活動時期および内容

6月～10月：大豆栽培～収穫、11月：味噌作り体験、  
1月：とうふ作り体験、2月：お世話になった方へのお礼とまとめ・発信



味噌づくり

### 【活動3】「稲作を体験しよう」

(1) 対象者 5年生(90人)、かがやき(特別支援)学級(4人)

(2) 教科 社会科、総合的な学習の時間

(3) ねらい 米づくりを体験し、農業のよさや重要性、  
地域の人々の願いを実感する。

#### (4) 活動の特色

校外の水田で田植えから稲刈りまでを体験し、その様子と学習の成果をまとめて発信する。

#### (5) 活動時期および内容

6月：田植え～10月：稲刈り、12月：お世話になった方へのお礼、  
2月：学習のまとめと発信



田植え

### 【活動4】「じゃがいも作りを体験しよう」

(1) 対象者 6年生(86人)、かがやき(特別支援)学級(1人)

(2) 教科 理科、総合的な学習の時間

(3) ねらい 1～6年生までの体験を通して振り返り、地域や人々のすごさを改めて見直す。

#### (4) 活動の特色

校外の畑でじゃがいもの植付けから収穫までを体験し、その様子と学習の成果をまとめて地域のよさと合わせて発信する。

#### (5) 活動時期および内容

9月：種芋植え～12月：収穫と調理、2月：お世話になった方へのお礼、  
学習のまとめと発信



じゃがいも収穫

### 3. 子どもたちへの成果

○子どもたちが、各学年の実態や学習内容に応じて、地域の宝でもある農地・作物・水・人々とのかかわりを持つことで、本校区のよさやすばらしさ、人々の思いや願いを実感できた。

○地域社会とのつながりを重視しながら、特色ある学校づくりを図っていくことで、現実の社会とのかかわりの中で子どもたち一人ひとりの豊かな学びを保障でき、「社会に開かれた教育課程」を実現することにつながった。

○子どもたちが、地域のよさや人々の願い・思いを知り、次代へ向けて情報を整理し発信していくことは、熊本地震で被災した農地の復興やこれからの地域の復興にもつながるものと思われる。これからも、この取り組みを続けていきたい。



稲刈り